

**DOUBLE  
DUTCH**

表紙  
写真

サークル活動は  
6ページ

Link Web IPU

このマークの記事の詳細は  
岩手県立大ホームページに  
掲載しています。

URL / <http://www.iwate-pu.ac.jp/>



CONTENTS

- 02 特集1 知事と学生の懇談会開催  
**地域の中核人材として  
大いに活躍することを期待します**
- 04 特集2 トークセッション 教員と学生による対話集Vol.2  
**地域を知って世界を見よう!**
- 06 特集3 県大サークル訪問  
**跳ねて、踊って、翔びだそう!**  
**DOUBLE DUTCH CIRCLE「ROPE A DOPE」**

- 08 在校生紹介  
元気です県大生
- 10 卒業生紹介  
夢を生きる・卒業生の今を知りたい
- 11 TOPICS
- 12 IPU通信

知事と学生の懇談会開催

# 地域の中核人材として 大いに活躍することを期待します

8月25日、本学学生が岩手県知事を訪ねて懇談会が開かれました。学生は岩手の魅力や課題を知事に紹介し、知事からは、学生に対する提言をいただきました。

## 学んでいること 考えていること

**知事** ●はじめに、学生のみなさんの活動や岩手県についての印象、あるいは将来の進路希望などを聞かせてください。

**佐藤** ●最近学んだ小児医療や地域医療について

て興味があります。将来は、地域医療機関や小児医療関係の仕事に就きたいと考えています。

**山川** ●県立大学のボランティアセンターの運営スタッフとして活動しているのですが、ホームレス支援ボランティアの代表も務めています。貧困も含めて高齢者の問題について専門的に学び、将来はケースワーカーの道に進

学生が考える岩手の魅力、課題を一人ずつ知事に紹介しています。



みたいと考えています。

**稲邊** ●専門分野では、後期からはデータベースの分野を学ぶ予定です。将来はコンピュータ関係やIT企業への就職を考えています。

**松尾** ●2つのサークルに所属しています。その一つが、少年非行防止に取り組みボランティアサークルの「アシスト」です。将来は、なんらかの形で岩手県に貢献するような仕事に就きたいと思っています。

**似里** ●盛岡短期大学部入学後、休学してアメリカに留学し、今年4月に復学しています。卒業後は、再度アメリカに行き、アメリカの大学に入学したいと思っています。

**中田** ●地域間格差にとっても興味を持ったので、独自に調べて学んでいます。

## 学生の意見 岩手を良くするため 何をすべきなのか

**知事** ●それでは岩手県を良くするために何が求められていると思いますか。また、どのような活動をしていますか。

**佐藤** ●小児医療の改善が急務だと思います。

いですね。

中田さんがテーマとしている地域間格差の問題は、とても重要で、私の仕事の大きな部分を占めています。私は、知事の事は「知る事」に尽きると言っています。ホームレスの問題も同様ですが、知る事がとても大切です。ぜひ、学問的に地域間格差解消の手法を開拓して、地元で活躍してください。

## 岩手県を希望郷とするために 共にがんばりましょう

本日は、県立大学の学生の皆さんから、今後の学生生活や地域社会づくりに向けて、大変、意欲あふれるお話を聞くことができました。ありがとうございます。

県立大学の中村学長さんからは、6月の意見交換会で、県立大学が「岩手の『知の創出』『活力の源泉』の拠点」を目指すこと、また、そのために、「地域中核人材の育成」や「岩手の知の創出」県民のシンクタンク機能の発揮、「産学連携・協働」に力を入れていきたいとの力強い抱負を伺っています。

皆さんには、岩手県が世界に通用するような地域の独自性を発揮することができるように「地域の中核人材」として、大いに活躍していただくことを期待しております。

## ●学生Profile

佐藤 光さん(看護学部看護学科2年、一関市出身)

山川裕香さん(社会福祉学部福祉経営学科3年、富山県南砺市出身)

稲邊優香さん(ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科2年、宮城県登米市出身)

松尾 東さん(総合政策学部総合政策学科3年、八幡平市出身)

似里 彩さん(盛岡短期大学部国際文化学科2年、花巻市出身)

中田大地さん(宮古短期大学部経営情報学科2年、葛巻町出身)



知事室にて、  
左から佐藤光さん、山川裕香さん、似里彩さん、  
中田大地さん、稲邊優香さん、松尾東さん

**山川** ●ホームレス支援のボランティア活動は、「盛岡市ホームレス冬を支える会」からの依頼から始まっています。食糧や衣類を届ける活動ですが、どなられることを覚悟で声かけを行っています。

**稲邊** ●岩手には良い所がいっぱいあると思いますが、全国的には知られていないと思います。ですから、卒業研究では地元の情報を積極的に発信できるようなシステムを考えたいと思っています。

**松尾** ●少子高齢化の現状を考えると、子どもが少ないからこそ、非行に走らないようにしなければならぬと思います。大切に育てられたという印象を持ってくれたら、子どもたちはふるさとに恩返しをしたいと思います。

**似里** ●外国に知られる以前に、まず日本全国に岩手のことを知ってほしいと思います。

**中田** ●地域間格差について調べてみて思ったのは、特に県北地域経済の継続的な低迷と沿岸地域が落ち込んでいるということでした。

## 知事の 提言 知の力を生かすのが 大学の使命

**知事** ●それでは、一人ひとりの意見に沿って、私の考えを述べさせていただきます。

小児医療の問題も含めて、子どもに関わる課題には、力を入れて取り組まなければいけないと考えています。家庭や地域による子どもの面倒をみる力が弱っているのですから、これを社会的に支えていく必要があります。そのための勉強をしている佐藤さんには、ぜひ頑張ってもらいたいと思います。

山川さんの活動のテーマである「貧困」は、まさに現代日本が抱える大きな課題を反映していますね。ぜひ継続して活動されることを期待します。

稲邊さんの取り組みデータベースの研究は、行政にとっても不可欠なものです。情報にアクセスすると、ただちに岩手自慢が出てくるようなデータベースの構築ができればいい

6月に岩手県と岩手県立大学との意見交換会が開かれました。活発な意見交換の後に会のまとめとして示された県立大学に寄せる知事からの発言を紹介します。

大学にはプラクティカル(実践的)であれということをお願いしたいが、県もよりアカデミック(学究的)にということが求められているのではないかと思います。県立大学の教員がどのような論文を書いているのか、県が関心を持つ必要がありますし、県が県民のニーズや研究のフィールドを紹介できると思います。また、大学の研究成果は、県民にとっても関心の高いものが多くありますから、今以上に公開、発表してもいいのではないのでしょうか。また研究成果を積み重ねていく中で、教育も充実していくのではないかと感じました。



岩手県知事  
達増 拓也

菊池 ● それでは、みなさん元気ですか(笑)。今回は、ソフトウェア情報学部の柴田教授にご登場いただきました。いつも笑顔の絶えない、やさしい先生と聞いています。よろしくお願ひします。

柴田 ● いつも笑顔でいたいと思っっている柴田です(笑)。

菊池 ● 唐突ですが、教授は、どんな学生だったのでしょうか。

柴田 ● ああ、はるか彼方の話だ(笑)。そうだね、自己紹介から始めようか。県立大学は、昨年度、開学10周年を迎えましたが、私は、開学の3年前から県立大学開設準備委員会に関わって、大学のネットワークの設計をしました。開学直前には、1本1本の光ファイバーのチェックをし、約30000台のコンピュータのチェックをしました。

菊池 ● はじめからソフトウェアを志したので

柴田 ● 私の学生の頃は、学生運動の時代です。1969年にアポロが月面着陸を達成し、自分もアポロのような研究をしたいと思ったことを覚えています。1980年から90年までの10年間をロサンゼルス大学院で過ごしました。

佐々木 梓 ● アメリカの大学って、明るくて、楽しいイメージがありますが。

柴田 ● アメリカの大学で学ぶというのは、学問の世界で戦うという印象でした。世の中の、特に科学の分野の先端を学ぶことの厳しさを知りました。世界のなかで仕事をするためには、コミュニケーション能力が重要だと気づかされました。

菊池 ● 学問の戦争ですか。

柴田 ● そう、戦争です。1000人のドクター代で海外に行きなさいと学生たちに言っています。日本においては体験できなかったことや新しい発見が必ずある。コミュニケーションが必要なのは、伝えるべき何かを持っていることですね。伝えたいことがあるから、伝えようと努力するのです。そのためには、自分の足下の地域を知る事です。日本とは何かと考えるのもいいけど、私のふるさととはこんな所と言えるほうがいい。具体的に心をこめて話せます。地域を知って、世界を見なさいと言いたい。

菊池 ● 地域を知るには、どうすればいいんでしょうか。

柴田 ● 難しく考えずに、できる限り興味をもって地域を歩くことかな。私の場合は、地域の防災を考えるために、県内をくまなく歩きました。海も山も高原もあるとても広大な岩手県では、地域ごとに地形も気候も違いますし、通信設備の整っていない地域もあります。そこで私が考えたのは、気球を使った無線LAN網のシステムでした。現在は、気球に全方位映像監視システムを搭載して、遠隔地からの監視ができるように研究を進めています。

私は、研究調査のために地域を歩きました。学生は学生の視点があるはずですから、気が向くままに地域を歩いてほしいな。

佐々木 理英 ● 何事も思っただけでは何も始まらないですね。私は、遠野市出身なので、遠野市の「ねっと・ゆりかご」に注目しています。情報とコミュニケーションがうまくつながった良い例ですね。

柴田 ● 医師と助産師と妊婦さんを結ぶネットワークサービスですね。本学も含めていろんな大学の先生が関わっていると思います。医療・看護・ソフトウェアだけでなく、多分野が協力してはじめて実現したものだと思っ

コースの学生がいましたが、学生みんな、ほぼ24時間、365日勉強です。

佐々木 梓 ● 24時間、365日? いつ寝るの?(笑)。

柴田 ● 今でも厳しい試験の夢を見ます。特に口頭試問がすごい。5人の先生が、一人の学生に機関銃のように質問していました。なまじつかなコミュニケーション能力ではついていけない世界です。

若いうちに海外を見よう!

佐々木 理英 ● 教授が今でも夢を見るくらいなら、私なら生きていけない!(笑)。私は、いつかデンマークに行きたいと思っっているけど、言葉ができないので迷っています。社会福祉の先進地ですから、10代のうちに視野を広げたいと思っっているのですが。

柴田 ● 私は、若いときにテーマを持って、20

# 地域を知って世界を見よう!

## ～情報とコミュニケーション～

教員と学生が身近な話題から現代社会の問題まで自由に話し合うトークセッション。講義では聞けない疑問、珍問なんでもありの学生企画コーナーです。

特集2 トークセッション  
教員と学生による対話集 Vol.2

Cast

菊池 茂 総合政策学部4年  
Kikuchi Shigeru

北上市出身。学生ボランティアセンターとアシストに加入している。盛岡西警察署と協力し少年の非行防止活動や児童センターでのボランティア活動に参加。

佐々木 梓 社会福祉学部1年  
Sasaki Azusa

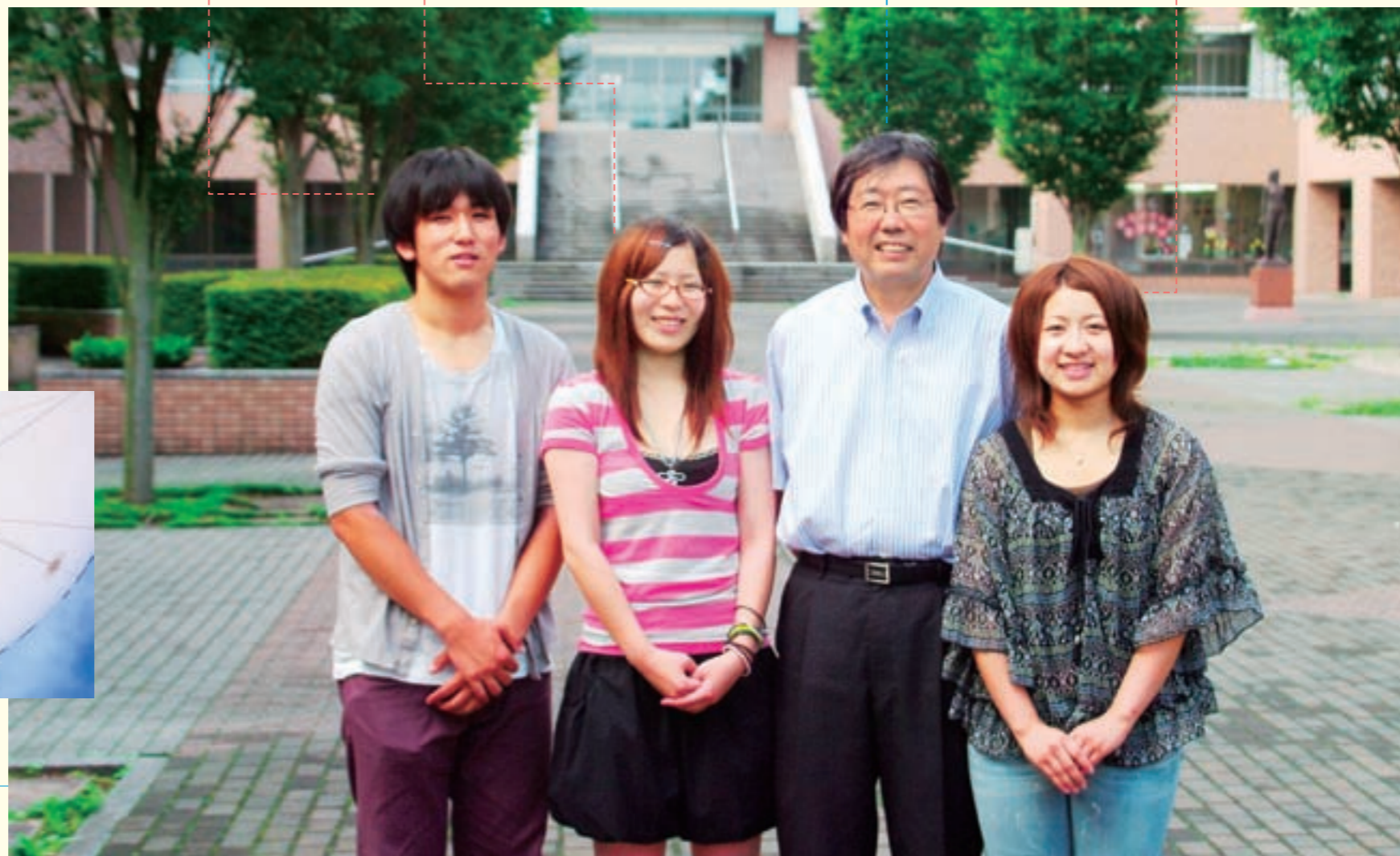
釜石市出身。小学校から釜石市民劇場に関わって県大の演劇サークルに参加。学生ボランティアセンターとダブルダッチサークルに加入している。

柴田 義孝 ソフトウェア情報学部教授  
Shibata Yoshitaka

カリフォルニア大学ロサンゼルス校大学院計算機科学専攻博士課程修了/研究領域:マルチメディア情報ネットワーク、ネットワークプロトコル、次世代インターネット、感性情報処理に関する研究/担当科目:情報ネットワーク論、メディアシステム基礎論、感性情報特論/岩手県立大学地域連携研究センター「地域防災情報研究所」所長/情報処理学会フェロー。

佐々木 理英 社会福祉学部1年  
Sasaki Rie

遠野市出身。学生ボランティアセンターとダブルダッチサークルに加入している。中学生の時のボランティアの経験から介護士を目指している。



柴田教授が研究を進める気球搭載全方位映像監視システムに利用される気球とPTZカメラ(パン・チルト・ズーム一体型監視カメラ)



大学構内に試験設置されている全方位カメラとPTZカメラ

県大生は企業から高い評価

菊池 ● 教授にお会いしたらぜひお聞きしたいと思っただけのことがあるので、質問していいでしょうか。

柴田 ● 何でも自由のトークセッションですよ。遠慮無くどうぞ(笑)。

菊池 ● 大学で学ぶことと企業が求めることが違くと良く言われますが、本当にそうなのでしょうか。

柴田 ● 菊池くんは4年生ですから、就職を考えているんですね。一般的に、技術があれば企業は採用すると考えがちですが、企業は学生の熱意や意見、コミュニケーション能力を含めた人間としての資質を求め問いかけています。県大の学生は、企業に入ると優秀だと高い評価を受けますが、入るまでは静かでおとなしいと思われるようです。そんな時は、口ベタだが才能豊かで実行力があると言っっています。実際、卒業生の企業からの評価は高いんですよ。

菊池 ● まだまだ話につきないのですが、これで終わりとさせていただきます。柴田教授、ありがとうございました。

柴田 ● それでは学内のどこかで、また、お話ししましょう。

# DOUBLE DUTCH CIRCLE

Link Web IPU

# ROPE A DOPE

跳ねて、踊って、翔びだそう!

県大の元気を見たい、知りたい、訪ねたい、という多くの方のご希望にお応えして、  
県大のサークルを訪問してみました。

今回は、時に優雅に、時に激しく、リズムカルなサウンドに合わせて、跳ねて、踊って、  
県大の元気そのままのダブルダッチサークル「ROPE A DOPE」を紹介します。

**ダブルダッチって何?**  
ニューヨークのストリートで子どもたちが、なわとびをする映像を見たことは無いでしょうか。ダブルダッチの本場は、アメリカ・ニューヨークです。今から300年以上前に、オランダ人によってアメリカに持ち込まれた「なわとび」が、ダブルダッチです。2本の縄を回して、複数のジャンパーがさまざまな技を交えて跳んで、パフォーマンスを競います。オランダ人が2本(ダブル)の縄で遊んでいる様子から、イギリス人がダブルダッチと名付けたと言われています。



**どんな活動をしているの?**  
県大のダブルダッチサークルは、2005年入学の1年生が創設したサークルです。最初は、数人のサークルでしたが、今では、3年生を中心に32名の学生が参加しています。県大のサークルには、ストリートカルチャー系が少ないので、サークルのなかでは華やかな存在です。サークル名「ROPE A DOPE」は、カッコいい縄、ロープに夢中、などのイメージですが、正解はありません。とにかくクールでカッコイイがキーワード。  
サークルとしては、日本学生ダブルダッチ連盟(JSDDL)が主催する大会に出場するための活動が1年の活動の大きな割合を占めています。また、要望があれば、地域のイベントなどに出向いてパフォーマンスを披露しています。

**チームの声を聞きました!**  
県大のダブルダッチサークル「ROPE A DOPE」には、5つのチームがあります。1チームは、4人から6人で構成されています。チームには、それぞれ自分たちのチームイメージを表したチーム名があります。チームの魅力を聞いてみました。

- JAY-SKY (ジェイスカイ)**  
チーム名は、チームのみんなの頭文字から。一人ひとりの個性を前面に出したチームです。学生のみならず、私たちのサークルに参加してみませんか。いつでも大歓迎。イケメンもいるよ!
- BB★DAN**  
1年生のチーム分けの際にA、B、CのBチームだったので、はじ(弾=DAN)けているBチームと名づけました。真ん中のマークは「県大の星になるのだ」というメッセージです。
- NOI'S (ノイズ)**  
ポジティブをモットーにダブルダッチを愛しています。見ている人が楽しめて、自分たちも楽しめるチームを目指しています。そして、みんな、さらなる高みへと翔びだそう。
- STEREOTYPE**  
躍動感あふれるパフォーマンスを目指しています。速い動きがあってキレがあれば最高!もっと県大の学生が、ダブルダッチサークルに参加してくれることを願っています。
- NAS (ナス)**  
跳ねる、飛ぶというイメージの強いダブルダッチ・チームの多いなかで、ヒップホップダンスの経験を生かしたダンスがメインのチーム。全国で異色を放つチームとして注目されるようにしたい。

**合宿です!**  
日本学生ダブルダッチ連盟(JSDDL)主催の東北大会を間近にして、陸前高田市にある県立高田松原野外活動センターで、夏合宿が行われました。

まずは、ストレッチ。練習の後は花火大会が待っているよ!

よ〜し、リズムに乗ってきたぞ!

いいね、その動き!

みんなで話し合いながらパフォーマンスの精度を高めていきます

ひとりリトレ、こんな感じかな?

みんな食べる食事は美味しいよね

THE 海!!!

深、いってみよ〜

シユツ

イタダキマ〜

**太田卓代表**  
昨年2008年には、「Double Dutch Delight North '08」において優勝することができました。今年度は、全国大会入賞をめざしています。県大のダブルダッチサークルが知られることで、東北地方にもっとダブルダッチの輪が広がればいいと思います。2本のなわだけで、こんなに強い絆が生まれるダブルダッチは最高です。

**鈴木由希子副代表**  
ダブルダッチは、お互いの心と身体のリズムが合わないと美しくないんです。互いの人間性を認め合って、気持ちを通じた時に最高のパフォーマンスが生まれます。すばらしいニューススポーツだと思います。

**問い合わせ先**  
ダブルダッチサークル「ROPE A DOPE」は、地域のみならずのご依頼があれば、どこへでも出向きます。詳細についての問い合わせはメールのみにてお受けしています。よろしくお願ひします。  
「ROPE A DOPE」代表 太田卓 宛  
メールアドレス:g031f027@edu.soft.iwate-pu.ac.jp

**快挙! 東北大会でW優勝!**  
9月5日、日本学生ダブルダッチ連盟(JSDDL)主催の東北大会「Double Dutch Delight North 2009」が、盛岡劇場(盛岡市)で開催されました。「ROPE A DOPE」から参加したチーム「NAS」がオープン部門で、チーム「STEREOTYPE」が一般部門で、みごと優勝の快挙を達成しました。いよいよ全国大会入賞めざして、熱い練習の日々が始まります。学内での練習を見かけたらぜひ応援の声をかけてください。

**2008年度 主な活動内容**

- 04月 ● 新入生歓迎会にてパフォーマンス
- 07月 ● 七夕祭 出演
  - IPU Music Fes 出演
- 08月 ● 高田Beach Street 出演
  - 安比の夏火火においてパフォーマンス
- 09月 ● Double Dutch Delight Northに出場しオープン・一般部門ともに優勝
  - 岩泉にてパフォーマンス
- 10月 ● Double Dutch Delight Japanにオープン・一般部門で出場

**2009年度 主な活動内容**

- 07月 ● 七夕祭
  - 緑ヶ丘児童館イベント
  - みのりホーム夕涼み会
- 08月 ● 岩脇団地夏祭り
- 09月 ● 滝沢村ちびっ子フェスティバル
  - Double Dutch Delight North出場
  - 滝沢村福祉ボランティアセンター夏祭り
  - 大更小学校講習会
  - イオンモール内にてパフォーマンス
  - 見前中学校講習会

- 10月 ● IPU FESTA2009に出場予定
  - 高田野外活動センターにてパフォーマンス
  - 米内中学校講習会
  - 中央卸売市場祭り
  - 矢町町秋祭り
  - Double Dutch Delight Japan出場予定
- 11月 ● 一関市立達子袋小学校講習会
- 12月 ● 岩手県大学ストリートパフォーマンス合同イベント「JOY-INT vol.3」企画・運営・出場予定

元気で県大生

# 私の未来設計

On Campus

地域がテーマであることに  
変わりはありません

**菊池** 小方さんは自分のテーマは「地域」だということですが、どうして地域に目を向けるようになったの？

**小方** それは、小学校の時の思い出からかな。小学校高学年の時に、地域の河川整備が行われて、市が主催するワークショップに参加したことがありました。もっときれいな川だということか、ここに階段があるといいとか、公園があるといいなど、自分のほしいものを提案しました。私が中2の時に、市民の声を取り入れた河川整備が完了したのですが、川はきれいになって、子どもたちの言ったことが形になっていました。それを見て、初めて、地域づくりに興味をわきました。地域を考え、地域のために役立つことを考えたいと思うようになったんです。高校になっても、地域のために働きたいとか、そこで暮らす人のためになる道へ進みたいと思っていました。高校時代の先生から、地域をテーマにするなら県大に進むのが良いと教えていただいたので、総合政策学部で「地域」を学んでいるわけです。

**本問** 考えが変わらないって、偉いと思うな。  
**小方** そんなことないよ。自分の思っていることを大切にしたいだけなんだけども。

情報収集の範囲が広がった  
ゼミ冊子の制作

**菊池** ゼミ冊子の制作では、編集チームの代表だったね。  
**小方** 2年生が中心になって、1年生と一緒に作ったけど、先生にお話を伺うとも良いチャンスでした。ゼミ冊子は、ゼミ選択を考える際の情報源をめざしたもので、ゼミの内容や先生を紹介している編集チーム11人の力作です。菊池くんもメンバーでしたよね。どんな研究室に行つて、直接先生にインタビューしました。

## 失敗を恐れず恥をかきなさい 先生の言葉を肝に銘じて参加した 弁論大会で優秀賞受賞

先輩や先生と面識が増えたとし、先生から授業では聞けないお話を伺うこともできたので、貴重な体験だったと思う。それ以来、情報収集の範囲が広がったと思います。  
**本問** 今でもゼミの先生とよく話す？  
**小方** はい、今でも先生達には率直に疑問をぶつけたりします。  
**菊池** 弁論大会に出たのもゼミがきっかけ？  
**小方** それは、ちょっと違います。3年生の11月だったかな、就職活動の相談に行つたときに、ゼミの先生に私に喝を入れてくださいと言つたのが始まりです。思い出すと恥ずかしいけど、

聞き手  
Interviewer  
profile

**【本問優子さん】**  
総合政策学部4年。1年生の冬にスノーバスターズに小方さんと一緒に参加して以来の友人。環境啓蒙活動に取り組む県大サークル「Grish(グリッシュ)」の活動に参加している。

**【菊池茂さん】**  
総合政策学部4年。本誌4ページ「トークセッション」にも登場。小方さんとは、卓球部で知り合い、アシストのボランティア活動も一緒に行ったことがある。

ど本当の話。どこか優柔不断な煮え切らない私を先生はよく見ていて、思いっきり叱られまじになるなというのです。「人生を振り返つて、これがキーだと思つて書いて、弁論大会に出てみなさい」と言われて書いたのが、「子ども達の経済・社会観と21世紀の地域づくり」という論文です。第25回土光杯全日本学生弁論大会で優秀賞をいただきました。失敗を恐れず恥をかきなさいと言ってくれた先生の言葉が忘れられません。その通りだと痛感しました。友達にも「能力があるのに、自信をもってアピールしないのは、もったいないよ」と言っています。そう、思いませんか？  
**菊池** ポラセン、アシスト、共にがんばっていますよ。若いうちに恥をかけ！ということかな。

みんな能力あるのに  
アピールしないのは  
もったいない！と思います

初めて田植えを体験  
将来は農業に関わる分野へ

**本問** 一緒に西和賀スノーバスターズを体験しましたね。  
**小方** 総合政策入門という授業がきっかけでした。学んだことに興味を持って実際に体験したいと思ひ、学生だけでスノーバスターズに参加し、翌年、体験報告会を開いて後輩達に現地調査のおもしろさを伝えました。なんとなくもいい、まず動くことが大事だと思いますね。

**本問** 春に農業体験に挑戦したらしいけど、どうでしたか？  
**小方** なんと生まれて初めての田植えでした!!農村社会学を研究している盛岡短期大学の先生の紹介で、「いわて喜楽人(きらびと)」という農業サークル活動に参加してきました。農業があんなに大変とは思わなかった。ご飯がこんなにも美味しいとはそれまで思つたことありませんでした。私のテーマに農業がしつかり根をおろした感じ。将来は、農業に関わつていけるような進路を考えたいと思つています。

農業への関心が、いろんな出会いをもたらしてくれました。有機、減農薬の生産者がどんな思いで農業を実践しているのかを知るために「中津川アースデーマーケット」の実行委員会に参加しています。「東京朝市アースデーマーケット」の盛岡版です。地域と食と農業が卒論のテーマになりそうです。  
**菊池** ところで、岩手山登山はどうだったの？  
**小方** そうそう、卒業までに岩手山に登りたいんです。山岳部のリーダー次第なので、返事を待っているところです。毎日あんなに美しい山を見ているんだもの、やっぱり登りたいと思うのは自然でしょ。

総合政策学部総合政策学科4年 桑田ゼミ(財政学)  
小方 恵実さん

**雪かき (スノーバスターズ)**  
高齢者等の除雪作業が困難な世帯に、雪かき、道踏み、雪下ろしなどをお手伝いする、雪かきボランティア「スノーバスターズ」(西和賀町)に参加。



**東京朝市アースデーマーケット**  
東京朝市アースデーマーケットは、生産者と消費者とが直接出会うことのできる朝市です。



**中津川アースデーマーケット**  
6月に開かれた中津川アースデーマーケットの様子です。東京・代々木公園で開催されているアースデーマーケット同様、生産者と消費者が出会うことを大切にしています。



**第26回 政策・情報 学生交流会**  
2007年、群馬県で開かれた第26回政策・情報学生交流会のオフラインミーティングの様子です。全国から100人を超える学生が集まりました。



## 》》オープンキャンパスでキャンパスツアー

7月5日(日)、受験生、高校生、保護者、進路指導教員を対象に、平成21年度オープンキャンパスが開かれました。岩手県立大学、岩手県立大学盛岡短期大学部、岩手県立大学宮古短期大学部の特色や魅力を紹介する説明会、模擬講義、学部企画イベントなど多彩な催しが行われました。なかでも、本学の学生が大学施設を案内するキャンパスツアーが好評で、多くの方の参加をいただきました。



## 》》心に響く声楽の世界を堪能

7月28日(火)、2009年度「芸術と人間」ライブコンサートが、本学講堂において開かれました。全学共通科目「芸術と人間」の最終授業として開かれたコンサートでは、「文学と音楽の融合」をテーマに、鎌田滋子准教授ほか4人の声楽家が歌唱。心に響く声楽の世界を堪能しました。



## 》》ETロボコンで チャンピオンシップ出場権獲得

ETロボコン2009北海道・東北大会が、8月30日(日)、いわて県民情報交流センター(アイーナ)で開かれ、本学ソフトウェア情報学部から参加した「のんびりP」チームが、チャンピオンシップへの出場権を獲得しました。「のんびりP」チームは、企業、大学から約160人が参戦した大会で、総合、競技、モデルの3つの審査部門すべてで1位を獲得、11月に横浜で開かれるチャンピオンシップ大会に出場します。



## 》》待望の弓道場が完成

各種大会等で優秀な成績を収め活発な活動を続ける弓道部(部員66名)にとって待望の弓道場が完成し、6月19日(金)に学長はじめ弓道部員が参加し竣工式が行われました。岩手県立大学開学10周年記念事業の一環として進められた弓道場建設には、県立大学後援会ならびに同窓会より多額の寄付をいただいております。ありがとうございました。



## 》》2氏に名誉教授の称号を授与

岩手県立大学は、6月19日(金)に開かれた名誉教授の称号授与式において、由井正敏氏(元総合政策学部教授)と岩根敦子氏(元盛岡短期大学部教授)の両氏に、その優れた功績をたたえ、名誉教授の称号を授与しました。

由井元教授は平成10年4月の開学以来、平成21年3月までの11年間にわたり、総合政策学部教授として教育・研究に尽力。岩根元教授は盛岡短期大学部の前身、岩手県立盛岡短期大学時代より42年間にわたり、教員として教育・研究に尽力されました。



## 》》公開講座で中村学長講演

県立大学開学以来、毎年開かれている公開講座が始まりました。平成21年度は、6月20日(土)の中村学長による特別講演をスタートに、11月7日(土)の研究発表会まで、現代の諸問題への疑問に県大の教員が応える13の講座が開かれます。中村学長特別講演では、学長の産学連携体験を多くの県民の方々に紹介しました。



# 夢を生きる 卒業生の今を知りたい CARRIER MESSAGE

## 岩手の魅力を伝えるのが私の役割

住工房 森の音(有)美建工業 長瀬 美鈴さん  
●総合政策学部[平成20年3月卒]

「環境政策を学び始めていた大学2年の時に、現在私が務めている会社の発想や仕事の内容を知りました。自然と人が長く共生できるように、人に心地良く、自然環境に配慮した衣食住を提案する会社として活躍していました。住むところで人の心への影響が異なるなら、住む環境をつくることに関わりたかったです」という長瀬さん。

営業職である長瀬さんが職場で求められているのは、お客様と専門家をつなぐ役割です。家づくりを考えるお客様の意向を聞き、建築の専門家である工務店スタッフに明確に伝えます。そのために必要と考え、現在、宅建(宅地建物取引主任者)資格の取得を目指して勉学にいそしむ毎日を送っています。

「風景にとけこむような住まいをお客様と一緒に考えたいと思っています。私は島根県出身で、岩手の自然、風景が好きになりました。県外出身だから、魅力に気づくことができ、仕事としてだけでなく、多くの人に岩手の魅力を伝えるのが私の役割なのかなと、最近感じています」



## 自信の持てる技術を身につけたい

JR盛岡支社青森信号通信技術センター 下堀 智史さん  
●ソフトウェア情報学部[平成20年3月卒]

研究室の友人の多くがIT関連企業への就職を考える中で、下堀さんはJRを選択しました。なぜ、専門を生かさないのかと疑問に思う声もあったようです。

「一つには地元志向がありました。また、福利厚生や研究制度が整っていることが大きな魅力でした。そして、何よりも人間として成長できる企業だと思ったのです」という下堀さん。JRの信号通信技術部門の仕事は、事務、設計、保守などに分かれています。設計グループの電気係に所属する下堀さんの仕事は、現場を知ることです。新人として、信号に関わる検査を担当する現場に向いて研修を重ねています。安全帯をつけ、信号機に上って実際に検査を行うこともあります。

「下準備に十分時間をかけてから業務に取り組む職場の姿勢は、学部でのシステム設計の作業手法に近いと思います。先輩は新入社員の方の面倒をよくみてくれます。いろんな分野で自信の持てる程の技術を身につけたいと思っています」





第12回

## 岩手県立大学大学祭

# IPU Festa 2009



テーマ

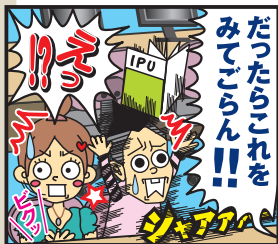
## 『RE:action』

意味「行動(Action)に対する反響(Reaction)」

私たちが起こした「Action」で、大学祭に関わった方々からたくさんの「Reaction」をいただける大学祭を目指すという意味が込められています。参加したすべての人が大学祭を形作り、楽しんでいただければと思います。



一風堂マンガ WEBを活用しよう!!



今すぐWEBにアクセス!! <http://www.iwate-pu.ac.jp/>

### 主なイベント

- **アーティストライブ**  
今年はGO!GO!7188が県大のステージにやってくる!ホットなライブをお楽しみに☆
- **高校生バンドライブ**  
高校生によるバンドライブを開催します!
- **パフォーマンス大会**  
生のパフォーマンスをぜひご覧ください!
- **フリーマーケット**  
毎年大好評のフリーマーケットで掘り出し物を探してみませんか?
- **グランドフィナーレ**  
大学祭を締めくくるイベントです。抽選会や花火など、盛り上げられること間違いナシ!

### その他にも楽しいイベント盛りだくさん!

- オープニングセレモニー ● 県大の選手権
- 中夜祭 ● ステージ発表、展示
- スタンブラリー



## 宮古短期大学部が開学20周年を迎えます

宮古短期大学部は平成2年に開学し、開学20周年の節目の年を迎えます。これを祝し、10月24日(土)に記念式典と記念祝賀会を開催します。この模様は次号のIPU42で詳しく紹介いたします。

### メインステージタイムテーブル

#### ● 2009年10月24日(土) 1日目

時間	イベント名	団体名
10:00~10:25	オープニングセレモニー-1日目	大学祭実行委員会
10:35~11:05	Joyful コンサート	エレクーンサークルJoyful
11:25~11:55	クロマニヨンスをやる。	DONATE DOGS
12:05~12:35	Reborn~IPU FESTA 2009~	SWANKY DOGS
14:00~15:00	GO!GO!7188ライブ たこやきツアー ~たこやきの中にたこを探して~	大学祭実行委員会
15:20~16:30	Breakout!!~ver.outside~	軽音楽部
16:40~17:10	JAM!!ステージ	JAM!!
17:20~17:50	ア・カベラLIVE 2009	アカベラサークル Jelly Beans
18:00~19:00	中夜祭	大学祭実行委員会

#### ● 2009年10月25日(日) 2日目

時間	イベント名	団体名
10:00~10:25	オープニングセレモニー-2日目	大学祭実行委員会
10:35~10:55	まるくま さんさ	岩手県立大学 さんさ踊り実行委員会
11:15~11:45	余興コンプレックス	アマイヤマヒ
11:55~12:25	メントスコラではじけようぜ☆ミ	タビオカパン
12:35~13:05	みんなでパッション感じよう。	アポロ
13:15~13:45	(今年も)調子に乗って(バンドしてみた)	Aging Boys Circle "D"
14:05~14:55	県大の選手権	大学祭実行委員会
15:05~15:35	ギタクラ大学祭LIVE 2009	ギタークラブ
15:45~16:25	キャラクタープロジェクト	中央委員会
16:35~17:20	BE UNRIVALED!!	LESISTA
17:30~19:00	グランドフィナーレ	大学祭実行委員会

### 講堂イベントタイムテーブル

#### ● 2009年10月24日(土) 1日目

時間	イベント名	団体名
11:00~12:00	第28回公演	岩手県立大学演劇部劇団ちやねる
13:30~15:30	東アジア文化比較フォーラム2009	岩手県立大学 大韓民国大使館 韓国文化院

#### ● 2009年10月25日(日) 2日目

時間	イベント名	団体名
10:00~12:30	輝く「いのち」のために・ 社会福祉フォーラム in IPU	岩手県立大学社会福祉学部
13:00~14:30	高校生バンドライブ	大学祭実行委員会
14:55~15:15	居合道部 演武会	居合道部
15:20~16:30	パフォーマンス大会	大学祭実行委員会
16:40~17:10	Polish Concert in IPU Festa	混成合唱団 Polish
17:10~17:30	パフォーマンス大会結果発表	大学祭実行委員会

※大学祭実行委員会企画は赤字で表示しています。

### ● 柏崎市で引っ越しボランティアを実施!

県大学生ボランティアセンターでは、2007年7月に発生した新潟県中越沖地震発生直後から継続して、被災地でのボランティア活動を行っています。今回は、仮設住宅等から復興住宅への引っ越しが進む柏崎市で、引っ越しボランティアを実施しました。柏崎市の社会福祉協議会と綿密な打ち合わせの後、事前に依頼のあった方だけでなく、荷物を運んできた方にも声をかけて、引っ越しのお手伝いをしました。海沿いの仮設住宅から5階建ての復興住宅への引っ越しです。参加した学生は、夏の暑い日差しの中、体力のいる作業に懸命に取り組んでいました。

